

GREEN REPORT 2011

株式会社 **ダスキン**
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
TEL.06-6387-3411 (代表)
www.duskin.co.jp

ダスキンはチャレンジ
25に参加しています。



SF110628 11.7.1-15.100



加盟店、お客様とともに取り組む ダスキンのエコのタネまき

震災からの復興に向けて

この度の東日本大震災で被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早くお元気を取り戻されますよう、お祈り申し上げます。現在、被害を受けた当社フランチャイズ加盟店、協力工場の事業所や店舗等の復興に、当社グループ一丸となって全力で取り組んでいます。

環境経営に受け継がれる創業者・鈴木清一の願い

企業とは、社会の中で生かされている存在です。会社が存在する意義は、売上や利益を上げることだけにあるのではなく、人が豊かに生きていくために役立つ商品やサービスを提供することが基本であり、企業活動そのものが人々と社会に貢献するものでなくてはならないと考えます。

創業者・鈴木清一は「主婦のおそうじの苦勞を軽くしてあげたい」と考え、創業の翌年である1964年、ダスキン初の家庭用ダストコントロール商品として、黄色い「ホームダスキン」を誕生させました。水ぞうきんを使った拭き掃除の時代に誕生したこの商品は、当時「魔法のぞうきん」と呼ばれ、主婦にかかるお掃除の負担を大幅に軽減させ、同時に多くの方にご利用頂けるよう、フランチャイズシステムでレンタルするという新しい流通システムを確立させました。

この創業者の想いを胸にダスキンの環境経営を推進するため、私たちは2008年に「身近に、未来に、エコのタネまき。」をスローガンに掲げました。

環境への配慮も企業として大切な課題であり、これは「社会貢献」というよりむしろ「社会的義務」であり、未来の地球を考える経営は次世代に対する責任と捉えています。私たちダスキンは事業戦略においても環境経営を重要な柱として、「くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない」の4つのエコへの考えのもと、環境に負荷をかけない人々の暮らしに結びついた商品・サービスの開発や提供に取り組んでいます。

ダスキンファミリー全体で取り組むエコ

「それぞれの地域で、一人ひとりのお客様に『ダスキンは世界一』と言っていただけるサービス会社」を目指すとともに、環境保全に関しても、これまで以上に充実させるために、工場や店舗での設備更新や操業・営業の工夫、効率的なエネルギー・資源の利用等、環境負荷低減活動を全事業で進めています。

今夏に見込まれる厳しい電力需給状況に対しても、全国で事業を展開するダスキンは、電力不足への対応も社会から求められる責務と捉え、事業特性に応じた目標設定を行い、特定地域だけの取り組みではなく全社が一体となって取り組んで参ります。

お客様とともに取り組むエコ

ダスキンは、日本でいち早くフランチャイズシステムを取り入れ、その可能性を追求してきました。今では全国の加盟店オーナーとお客様係が、それぞれの地域で日々、お客様との接点を持っています。この特徴を活かし、より多くのお客様とともに楽しみながらエコ活動を進め、「エコのタネ」をご一緒にまいていくための様々な取り組みを行っています。

2006年から始まったクリーンアップマイタウン活動では、2010年度は2万2千名を超える皆様と、約1.5t、3万5千リットルものゴミを回収しました。これまでご参加いただいた延べ人数は、約10万人にもなります。

また、近年子ども達の見学が目立つエコプロダクツ展では、より多くの次世代の担い手にエコの意識を持ってもらおうと、『ダスキン エコ劇場』を開催しました。家庭のリビングを再現した喜劇風ステージで「暮らしのエコ」をテーマにホーム喜劇を繰り広げました。

喜ばれ、信頼されるために

今回の震災によりダスキンの多くの事業所も被災し休店を余儀なくされました。震災という障壁とともに乗り越え、これからもお客様に喜びを感じていただけるようなサービスを日々提供することで、地域でもっとも喜ばれ、地域の信頼度NO.1のサービススタッフ・事業所でありたい、との願いを込めて事業を推進して参ります。今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社ダスキン
代表取締役社長

山村 輝治



ダスキンの環境宣言

身近に、未来に、エコのタネまき。

おそうじ用具のレンタルからはじまり、ものを大切にしてきたダスキンは、地球の未来を大切にするため、

くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない、これらの視点で、商品・サービスの開発、生産、お届けから使用後までの企業活動のすべてを見直し、さらに取り組みを進めます。

「喜びのタネまき」の精神に、エコのタネをのせて。ダスキンは、身近なところから未来にむかって、エコロジーを育てていきます。



ダスキン環境方針

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

1.環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択

原材料の調達から商品の製造、お届け、お客さまによるご使用、使い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用します。

2.環境負荷が少ない工場稼働

省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイクルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働に努めます。

3.環境負荷が少ない物流と営業・販促活動

ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO₂排出の削減に取り組みます。環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。

4.環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備

省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。

5.環境負荷が少ない社会づくりへの貢献

法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。

DUSKIN GREEN REPORT 2011

CONTENTS

TOP MESSAGE ————— P02

CONTENTS・編集方針・会社概要 ————— P04

事業紹介 ————— P06

環境報告

環境マネジメント ————— P08

マテリアルバランス・環境会計 ————— P09

省エネ・温暖化対策 ————— P10

水資源の有効活用 ————— P13

循環型社会への取り組み ————— P14

エコ商品・サービス ————— P17

生物多様性の保全に向けて ————— P18

社会への取り組み

私たちダスキンができること ————— P19

祈りの経営ダスキン 経営理念

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては
喜びのタネまきをすること

我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にすること

合掌
ありがとうございました

編集方針 環境報告書として11回目の発行となる本報告書では、環境への取り組みテーマごとに、各事業の特徴と環境に与えている影響、及びそれらを緩和・改善するための具体的事例をご報告しています。ぜひご一読いただき、忌憚の無いご意見を頂戴できれば幸いです。

対象期間 2010年度(2010年4月～2011年3月)を主な対象としていますが、2010年度以前および2011年度の活動についても一部掲載しています。

対象範囲 株式会社ダスキン 国内の関係会社およびフランチャイズチェーン店舗

参考ガイドライン 環境省「環境報告ガイドライン2007年版」
環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

お問い合わせ先 株式会社ダスキン
品質保証・リスク管理部 品質保証・環境推進室
TEL:06-6821-5801 FAX:06-6821-5703

会社概要

社名(商号)	株式会社ダスキン【DUSKIN CO., LTD.】
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号
代表者	代表取締役社長 山村 輝治
設立	1963(昭和38)年2月4日
資本金	113億円(2011年3月31日現在)
全国チェーン店お客様売上高 [※]	4,243億円(2010年度)
従業員数	2,033人(2011年3月31日現在)

※全国チェーン店お客様売上高は、国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推定売上高の合計を参考数値として記載しています。

■2010年度全国チェーン店お客様売上高構成比



※単位:億円(単位未満切り捨て)

環境保全活動の歩み

- 1963年 ダスキン創業
クリーンサービス事業
(化学ぞうきんレンタルのフランチャイズ展開、工場配置)開始
- 1971年 工場への廃水処理設備配置開始
ミスタードーナツ事業開始
(1974年からは陶器・ガラス食器使用)
ケアサービス(サービスマスター)事業開始
- 1973年 全工場に廃水処理装置を導入完了
- 1978年 レントオール事業(総合レンタル)開始
- 1993年 ミスタードーナツで油のリサイクル処分開始
- 1994年 ミスタードーナツがニューフードサービス推進優良事業者表彰で
エコロジカル・フードサービス部門「農林水産大臣賞」受賞
- 1998年 環境理念 環境方針を制定
- 1999年 工場のISO14001認証取得を開始
- 2000年 初の環境報告書「グリーンレポート2000」刊行
生産本部ISO14001認証取得
ミスタードーナツ事業ISO14001認証取得
- 2001年 クリーンサービス事業(営業部門)ISO14001認証取得
ケアサービス事業ISO14001認証取得
レントオール事業ISO14001認証取得
- 2003年 全工場のISO14001認証取得完了
- 2004年 「ダスキン行動基準(第1版)」を発行(環境への基準を含む)
小学生環境教育の場としての工場見学開催開始(横浜中央工場)
レントオール事業でレンタル介護用品を本格展開開始
- 2005年 環境管理規程の制定
新・環境方針を制定
京都市都心部グリーン配送推進協議会への協力宣言
大阪ガスと共同環境貢献プロジェクト「D・OGプロジェクト」発足
ダスキン企業集団CO₂削減に向けての基本行動計画決定・発表
- 2007年 リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進功労者等表彰で「会長賞」受賞
- 2008年 環境宣言制定
- 2009年 フードサービスグループISO14001認証取得
- 2010年 「おおさかストップ温暖化賞」優秀賞を受賞
「おおさか優良緑化賞」選考委員会奨励賞を受賞

日本全国で展開するダスキン

日本中の街に広がる

「フランチャイズシステム」＆「定期訪問サービス」

ダスキンでは、フランチャイズシステムを通じて高品質な商品・サービスをお届けできるお店を全国に展開してきました。そして同時に、定期的にお客様のもとを訪問し、ニーズを捉え、ご要望にお応えすることで、これまで多くのご支持をいただけてきました。

これからは地域の特性に合わせた体制を強化！

お客様のご要望にスピーディーにお応えするため、各地域の体制を強化。全国チェーンの枠にとらわれず、地域の実情にあわせ、よりご満足いただける商品とサービスをお届けします。



生産本部

全国に47の「ダスキン工場」を展開し、レンタル商品の店舗からの回収、洗浄や乾燥、資材の購買、店舗への配送を担っています。



本社部門

ダスキンのフランチャイズ活動全般をサポート。フランチャイズシステムを支える、新たな商品・サービス・仕組みの開発と、教育・研修などを行っています。

CLEAN GROUP

クリーングループ

毎日の暮らしを、もっと「キレイ」に、「快適」に。ダスキンはこれからもご家庭ではもちろん、お店や会社でもお客様一人ひとりのスタイルに合わせた多彩な商品とサービスで快適な空間づくりと、ゆとりある暮らしをお手伝いします。

» すこやかで快適な毎日をサポートするいろいろなサービス。

ダストコントロール



清掃・衛生用品のレンタル＆販売

メリーメイド



便利な家事代行サービス

サービスマスター



プロのお掃除サービス

ターミニックス



害虫獣の駆除＆予防管理

ユニフォームサービス



ユニフォームのリース＆クリーニング

トウルグリーン



庭木のお手入れサービス

ヘルス＆ビューティ



自然派化粧品と健康食品の販売

ドリンクサービス



天然水・コーヒーの定期お届けサービス

» 多彩なサービスで暮らしをサポート。

レントオール



日用品からイベント用品まで総合レンタルサービス

ヘルスレント



介護福祉用具のレンタル＆販売

ホームインステッド



ご高齢者の暮らしのお手伝いサービス

ダスキンヘルスケア



病院の清掃＆マネジメントサービス

FOOD GROUP

フードグループ

いつでもやさしい温もりと徹底した品質管理から生まれる安全・安心のおいしさ。ダスキンのフードグループのお店は、今日も全国の街へお客様のお手元へ、とっておきのおいしさをまごころとともにお届けしています。

» 日本中に「おいしいひととき」をお届け。

ミスタードーナツ



手作りドーナツと多彩なメニューでおもてなし

カフェアンドナンド



リッチな味わいをお届けする大人のためのドーナツカフェ

カフェデュモンド



カフェオレとベニエが看板メニューの気軽なお店

スティック・スイーツ・ファクトリー



スティックタイプのケーキが人気、おしゃれなスイーツのお店

かつアンドかつ



ファミリーでご利用いただけるとんかつレストラン

ザ・どん



新鮮な食材にこだわったどんぶりの専門店

環境マネジメント

ダスキンでは、1998年に環境理念及び環境方針を制定し、翌1999年から各事業のISO14001の認証取得を開始いたしました。2008年には環境宣言を制定し、全社的な環境経営に取り組んでいます。

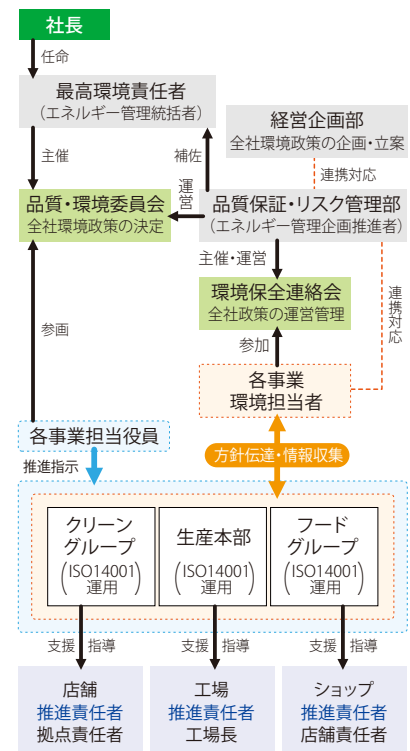
主な取り組みテーマの一覧

○:目標達成 △:70%以上達成 ×:70%未満

取り組み内容		2010年度目標	2010年度の実績	評価
全社	電気使用量の削減	直営・関係会社合計43,900千kWh以下	直営・関係会社合計42,772千kWh	○
	紙使用量の削減	直営・関係会社合計62,733kg以下	直営・関係会社合計64,819kg	△
クリーングループ	可燃・不燃ごみの減量化 (ホームサービス／ビジネスサービス)	33,493k ℓ 以下に抑制	31,970k ℓ	○
	低排出ガス車への切り替え (ホームサービス／ビジネスサービス)	5,800台以上の導入	6,600台を導入	○
生産本部	燃料使用によるCO ₂ 発生量の削減	対前年1,162t-CO ₂ 以上の削減	3,464t-CO ₂ の削減	○
	配送車両の燃費向上	平均燃費6.64km/ ℓ 以上	平均燃費6.94km/ ℓ	○
フードグループ	ドーナツ廃棄量の削減(ミスタードーナツ)	2008年度比7%以上の削減	8.6%の削減	○
	全店平均水道使用量の削減(ミスタードーナツ)	2008年度比2%以上の削減	10.6%の削減	○

環境管理体制

全社的な環境政策の企画・推進および、進捗管理を行う組織は以下のようになります。



環境に配慮した商品・サービスの開発

ダスキンでは、「生産から使用後まで環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択」という環境方針に沿って、商品・サービスを企画・設計するための具体的な配慮事項を設定しています。

企画・設計における主な環境配慮

事項	内容
エネルギー消費量の削減 (生産時または使用時)	製造および使用時にかかるエネルギー使用量の削減
耐久性 (長期使用・耐用回数)の向上	レンタル商品などの耐久性向上
容器包装の分別収集 (リサイクルしやすい)仕様	リサイクルしやすい素材を優先的に使用
容器包装の減容化	容器包装の簡素化・軽量化

環境ISOの状況

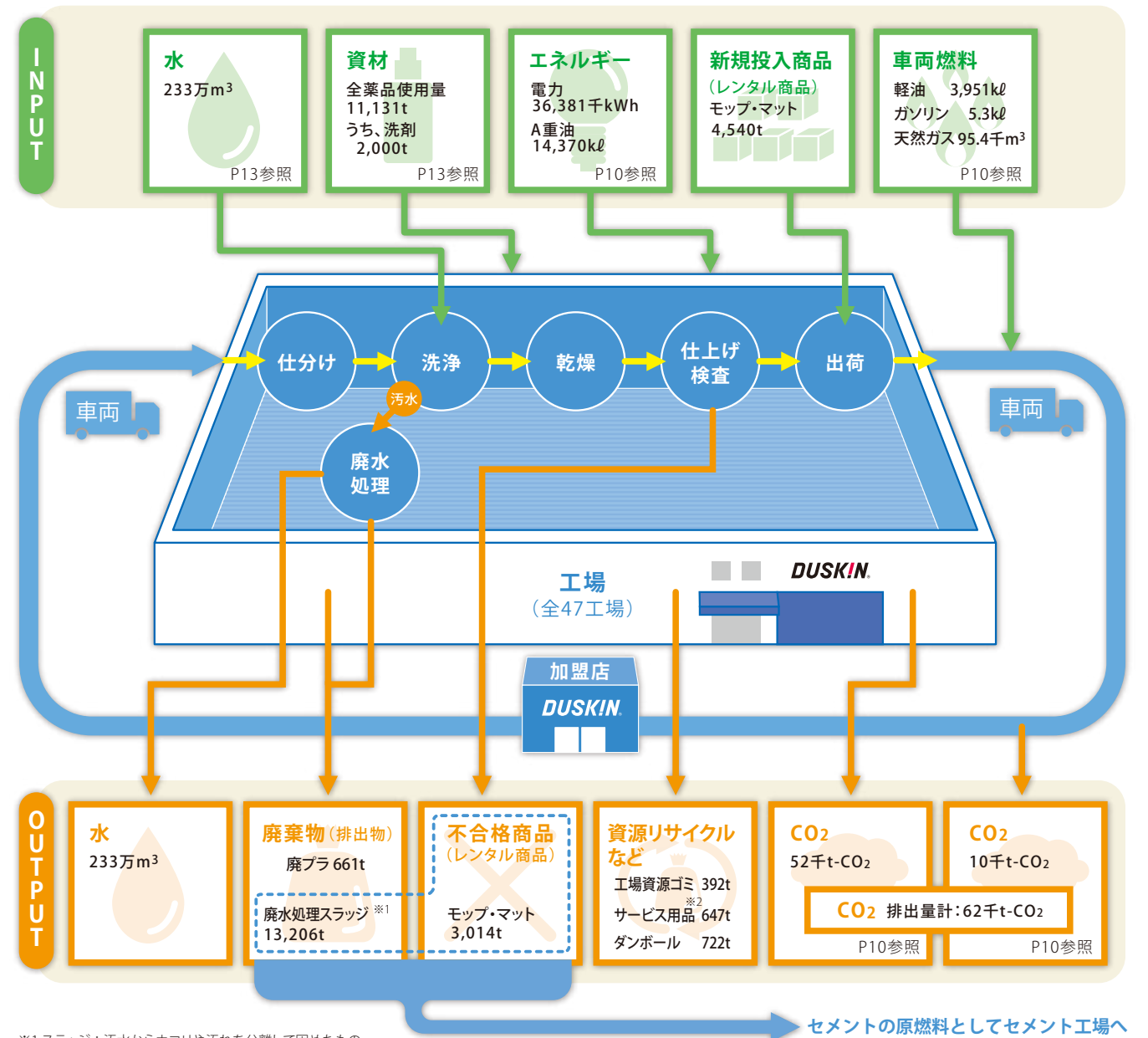
ダスキンでは各事業でISO14001の認証を取得し、継続的な改善を推進しています。

ISOの登録状況

登録日	登録事業所
2000年3月3日	生産本部、全国47総合工場及び小野工場、和倉工場 (登録番号:JMAQA-E095)
2000年4月21日	フードグループ及びミスタードーナツ・カフェデュモンド・かつアンドかつの本部と全ショップ (登録番号:JMAQA-E104)
2001年3月30日	クリーングループ(ホームサービス事業本部・ビジネスサービス事業本部)／全加盟店・支店(国内) (登録番号:JQA-EM1483)
2001年4月27日	クリーングループ(ケアサービス事業本部)／全拠点 (登録番号:JQA-EM1552)
2001年7月26日	レントオール事業／ヘルスレント事業／本部と全店舗 (登録番号:JMAQA-E218)

マテリアルバランス

レンタル商品の洗浄・仕上げ・出荷のサイクルにおける2010年度の主な環境影響をプロセスごとに示しています。



※1 スラッジ：汚水からホコリや汚れを分離して固めたもの
※2 サービス用品：モップの柄・空気清浄機本体・浄水器本体など

環境会計 ドーナツの飼料化リサイクル

ドーナツのショップでは、現在のところ関東エリア365店および東海エリア127店で飼料化リサイクルを実施しています。2010年度に飼料化リサイクルした量は1,959トン、飼料化に要した回収配送コストは21百万円となりました。食品リサイクル法で定められた取り組みではありますが、ドーナツ店舗における社会的責任ととらえ、これからもエリアを拡大し、更なるリサイクルを推進します。

費用額（回収配送費） **21**百万円／年 | 物量効果（ドーナツ飼料化リサイクル量） **1,959**トン／年



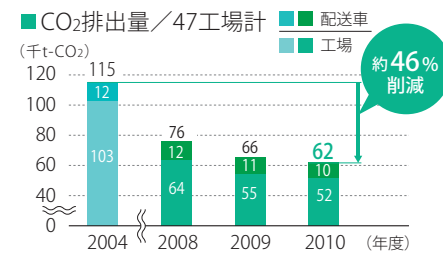
省エネ・温暖化対策

ダスキンは2010年10月、改正省エネ法における「特定連鎖化事業者」に指定されました。今後は、フランチャイズチェーン全体での省エネルギー活動推進を通じ、温室効果ガスの排出削減を着実に進めていきます。

生産

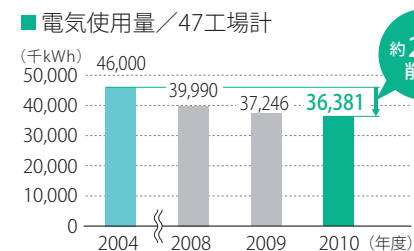
工場でのCO₂排出量の削減

工場の操業や輸配送において、省エネルギーの取り組みを進めた結果、2004年と比べて46%のCO₂削減を果たすことができました。



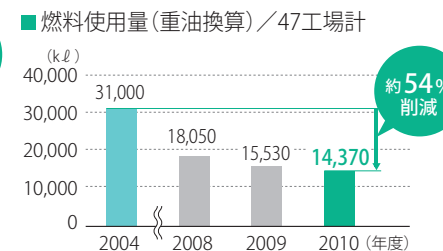
●工場での電気使用量の削減

一部工場で、照明の見直しを行ない、水銀灯などの照明設備を省エネタイプのものに入れ替えを実施したほか、各種設備の設定見直しや運転の効率化に取り組んだことによる電気使用量の削減が進んでいます。



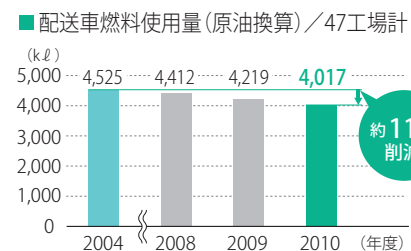
●工場での燃料使用量の削減

洗浄したモップやマットを乾燥する大型乾燥機において、ダスキン独自の省エネタイプの設備導入が進んだほか、工場内の配管の保温や、メンテナンスによるエネルギーロスの排除などにより、使用量の削減ができました。



●配送車燃料使用量の削減

従来からのエコドライブ推進に加え、2010年度は全配送車に運行管理機器の設置を行い、配送ルートの効率化に取り組んだことで、燃料使用量の削減と平均燃費の大幅な向上がはかれました。



エコドライブ推進

ダスキンでは2007年より、モップやマットのお届けなどに使用する営業車両で「アイドリングストップ活動」をスタートしました。2009年からは、活動項目を拡大し「エコドライブ推進活動」として、「エコドライブ推進ガイド」による取り組みの周知や、年に3回発行される「エコドライブ通信」などを通じての取り組みの推進を行っています。この活動には、全国約18,000台の営業車が参加しています。



営業車両

■ アイドリングストップ等による効果
2010年度実績(2010/4～2011/3)

CO₂
1,242t
削減

対象車両
約18,000台



※ 1分間のアイドリングストップによるCO₂排出量を約23gと仮定して試算

VOICE

旧型の乾燥機はホテルなどで使用されるリネン類の乾燥機をカスタマイズしたものでした。新型乾燥機はダスキンのノウハウを盛り込み、特に省エネにつながる温度や回転数、運転時間の制御、熱の利用効率などを大幅に見直しています。省エネということで今年の夏に予定されている節電も含めてコンプレッサーやボイラーを中心に、これまで以上に効率的な利用を目指して、厳しく運用状況をチェックしていきます。



生産本部
製造部 設備技術室
堂本 雅俊

TOPICS

ダスキンの環境活動が評価され、大阪府から2つの賞を受賞しました！

おおさかストップ温暖化賞を受賞

平成19年度から「大阪府温暖化の防止等に関する条例」に基づき、大阪府が他の事業者の模範となる優れた取り組みを実施した事業者を表彰する「おおさかストップ温暖化賞」でダスキンは、パナソニック株式会社様や関西電力株式会社様とともに「優秀賞」を受賞しました。

昨年のグリーンレポートでもご紹介した省エネタイプの大型乾燥機の導入や、研修施設「ダスキンスクール」での様々な施策を含む1年間の活動を評価いただきました。

評価されたダスキンの主な環境活動

- ・独自開発した省エネ乾燥機を大阪中央工場(吹田市)で本格稼働
- ・本社ビル(吹田市)で省エネ効果の高い空調設備へ更新
- ・研修施設「ダスキンスクール」で省エネ効果の高い設備を導入

CO₂削減効果

温室効果ガス総排出量		削減量	削減率
平成20年度	平成21年度		
5,651t	4,864t	787 t	13.9%



省エネに配慮した、新型洗濯機・乾燥機

おおさか優良緑化賞を受賞

都市環境の改善や魅力の向上のモデルとなる取り組みを表彰する「おおさか優良緑化賞」ではダスキンスクールが「選考委員会奨励賞」をいただきました。平成22年1月に開設したダスキンスクールでは、次のような省エネ設備を導入しています。

- エアコンにエコアイス方式を採用
- 施設の一部に太陽光パネルを導入
- 屋外のサイン看板や館内の一部にLED照明を採用
- 屋上緑化による直下階の空調消費電力を削減
- エコキュートの導入



ダスキンスクール

FOOD

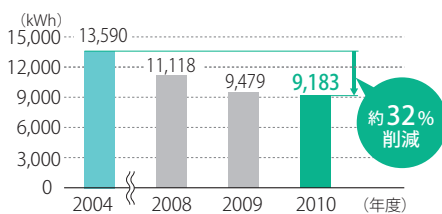
ショップの省エネ

ショップでは日々、水道光熱メーター管理やこまめな消灯などの省エネ活動に努めています。2004年度と比べて、電気使用量は約32%を削減、水道使用量は約28%を削減しました。さらにショップの改装に合わせて省電力型の設備を導入する準備を進めています。

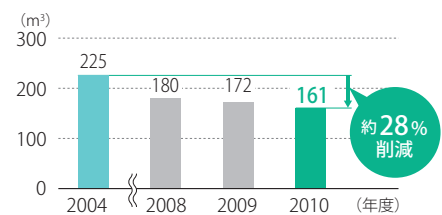
CO₂排出量

年度	対象範囲	CO ₂ 総排出量	店舗平均(年間)
2009年度	1,314店	62,800t	47.8t
2010年度	1,357店	58,200t	42.9t

電気使用量(1店舗・月間平均)



水道使用量(1店舗・月間平均)



ショップの省エネ

具体例

●**パラペットサイン内部・店内照明のLED化**
LED照明は消費電力が低く、なおかつ約40,000時間交換不要で経時の照度低下が少ないという特徴を持っています。ミスタードーナツではショップで使用する照明を順次、LED照明に換える取り組みを進めています。

2010年度のLED導入実績

事項	店舗数
パラペットサイン	44店舗
店内照明	17店舗
ショーケース	64店舗



パラペットサイン



店内照明



店内照明



ショーケース

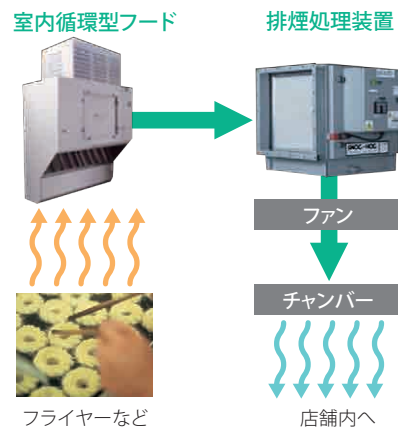
ショップの省エネ

その他の導入検証中の取り組み

●循環型排気システム

油分除去率の高いフィルターとフィルター自動洗浄機能により、フライヤーの排気をキッチン内で循環させて、空調負荷を低減させる新排気システムです。メンテナンスの負担を低減し、臭いや油煙を外に出さないメリットがあります。

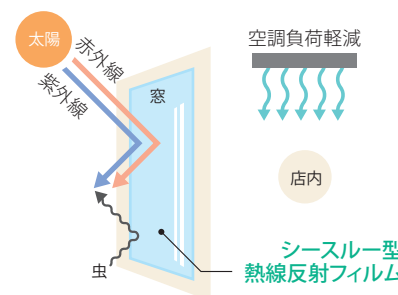
●循環型排気システム概念図



●シースルー型熱線反射フィルム

透明でありながら、窓などの開口部からの赤外線や紫外線をカットし、空調負荷を軽減するフィルムです。紫外線に寄ってくる虫よけ効果もあります。

●シースルー型熱線反射フィルム概念図



●電力使用の一括管理システム

ショップにセンサーサーバを設置し、監視センターがショップの電力計、厨房施設を常に見守ることで、設備のコンディション把握や、光熱費の無駄を発見し低減を行うシステムを検証しています。

水資源の有効活用

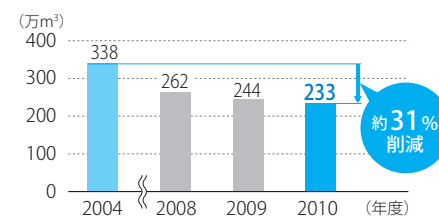
ダスキンでは、水資源保全の基本理念として、「自然からお預かりしたものは、元の状態にして自然にお返しします。」という言葉が創業当初から語り継がれています。今後も変わらず、水資源の有効活用や水質の保全活動に努めます。

生産

工場での水資源有効活用

工場で洗濯に使用した水は、廃水処理を行い河川や下水道へ放流しています。ダスキンでは、この処理水を再び洗濯水の一部として利用する取り組みを進めており、2004年に比べて、約31%の用水使用量の削減ができています。

■水の使用量／47工場計

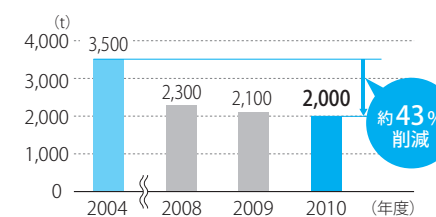


生産

工場での洗剤の利用削減

洗濯に使用する洗浄用水に特殊処理を行い、洗濯に適した水にすることで、使用する洗剤量を削減することが可能になりました。現在、全国の工場での技術が導入されています。

■洗剤使用量／47工場計



CLEAN

プロのお掃除での水資源保全

ダスキンのカーペットクリーニングでは、お客様のカーペットの状態に合わせてクリーニングの最適プランを提案しています。2010年度より、パイルにしみついた土砂汚れなどを、専用の薬剤・処理で結晶化させて回収除去する新手法、「カプセレーションクリーニング」の導入を進めています。この手法は、セミドライ方式のため、汚水の発生が従来より少なく、乾燥時間が早く仕上がるメリットもあります。

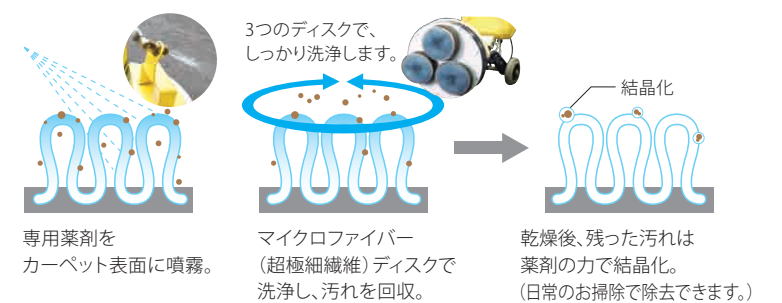
カーペットクリーニングでの新たな取り組み

水資源の保全につながる「カプセレーションクリーニング」の導入

ダスキンサービスマスターの従来のカーペットクリーニングの工程では、専用洗剤でクリーニング後、汚れと洗剤分を多量の水を使用した吸引による回収が必要でした。カプセレーションクリーニングでは、「カプセレーションクリーナー」をカーペットに散布し、マイクロファイバー製の洗浄ディスクでパイル表面のクリーニングを行うとともにディスクが汚れを回収するため、汚水の発生がほとんどなく乾燥も非常に早いセミドライなクリーニング方式です。さらに大幅な作業時間の短縮により、機械洗浄による電気使用量の削減にもつながります。

薬剤噴霧 & 洗浄

乾燥・結晶化



VOICE

これまでのカーペットクリーニングはシャンプーやすすぎのプロセスで水を大量に使っていましたがカプセレーションクリーニングにより、数十分の乾燥時間に抑えることが出来ます。乾燥のために待つ時間も短縮され、これまでよりも気軽にお掃除を依頼していただけるようになりました。クリーニングの頻度を上げることで美観の維持もでき、カーペットの寿命は数倍にも長持ちします。節水を含むカーペットクリーニングにおける新しい価値をより広くお客様に提供していきます。

ビジネスサービス事業本部
商品部
今村 一憲

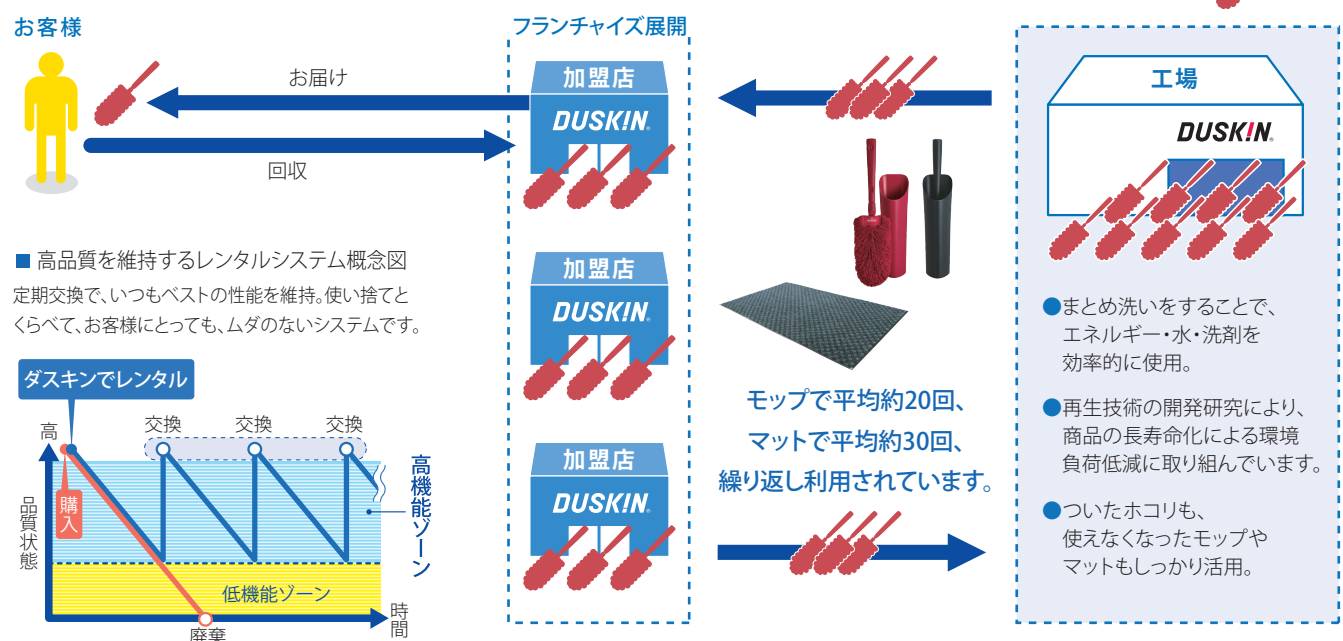


循環型社会への取り組み

お掃除道具のレンタルシステムを日本に定着させたダスキンは、ものを大切に、くりかえし使う、みんなで使う、減らす、捨てないという発想で事業活動を展開しています。

ダスキンの循環型レンタルシステム

レンタルシステムのメリットは、商品のライフサイクル全体を通じてダスキンでしっかりと環境管理ができることにあります。商品の開発から、廃棄時のリサイクルまで、環境に配慮した事業展開を推進しています。



CLEAN 生産 ダスキンが取り組む主なリサイクル

事業活動に伴い発生する様々な不用品についても、回収し、再資源化に取り組んでいます。モップ・マット以外の資源リサイクル対象商品は、ダスキンのお店が責任を持って回収後、工場を経由してリサイクル業者に送られ、再生素材としてほぼ100%再資源化されています。

■2010年度の再資源化実績

対象物	2010年度発生量	リサイクルの概要・処理方法
レンタル商品についたホコリ（洗浄され、廃水処理スラッジとして）	13,206t	セメント会社でセメントの原料
検査不合格商品（モップ・マット）	3,014t	セメント会社でセメントの原燃料
サービス用品（モップの柄・空気清浄機本体・浄水器本体など）	647t	リサイクル業者にて、素材ごとに分解・解体され再資源化
ダンボールなど	722t	古紙として再資源化

CLEAN 容器減容化の取り組み

ケアサービスでは、独自の基準を設定し、お掃除などのサービスに使用するワックスや洗剤の薬剤容器の減容化の取り組みを進めています。2010年度は、12種類の容器減容化を実施し、1,374kgの樹脂使用の削減ができました。

VOICE

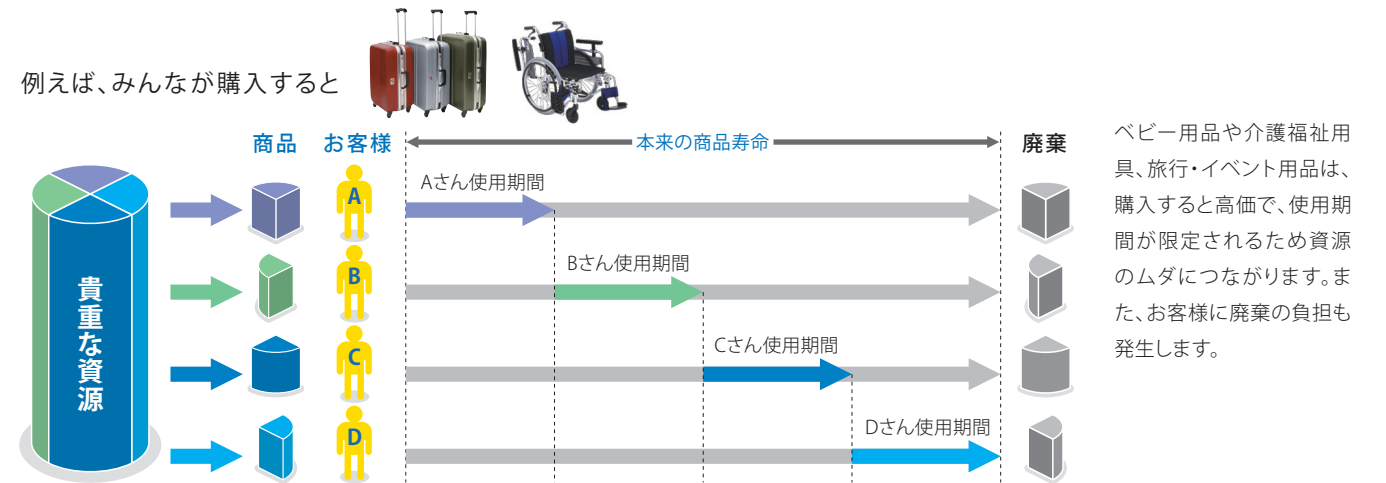
家庭用モップやマットの商品開発を担当していますが、素材の選定から、利用時の回収・リユース、さらには廃棄後の有効活用に至るまでエコの視点を欠かしません。社内の開発会議では着手時に環境配慮の項目が必ず必要で、環境要素に合致していない商品は開発の承認を得られません。新商品のシュッシュとラの商品開発においても、モップの素材の選定や仕様の工夫により、再生時の環境負荷低減ができ、環境ISOの審査機関からもお褒めの言葉をいただきました。

ホームサービス事業本部
商品部 モップ・マット商品室
小西 瑠美



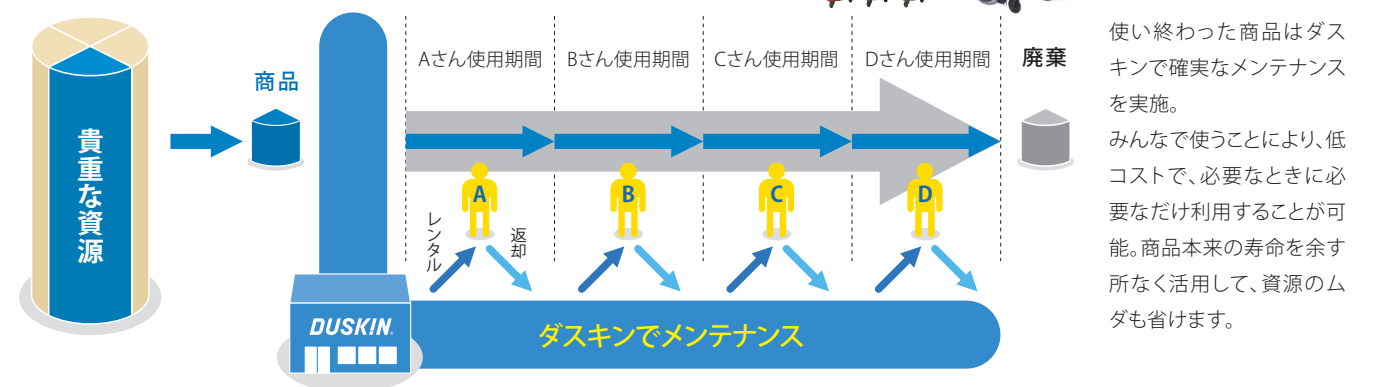
資源を大切に扱うレントオール／ヘルスレントのレンタルシステム

ダスキンではベビー、トラベル、イベント用品や、介護・福祉用具のレンタル事業を展開しています。



ベビー用品や介護福祉用具、旅行・イベント用品は、購入すると高価で、使用期間が限定されるため資源のムダにつながります。また、お客様に廃棄の負担も発生します。

≫ダスキンにおけるレンタルシステム（シェアリング）なら



使い終わった商品はダスキンで確実なメンテナンスを実施。みんなで使うことにより、低コストで、必要なときに必要なだけ利用することが可能。商品本来の寿命を余す所なく活用して、資源のムダも省けます。

CLEAN ダスキンレントオールによる取り組み

ベビーベッドのレンタルは、年間約30,600台※1に及びます。これらすべてのベッドを購入すると、年30,600台分の資源が必要となりますが、ダスキンレントオールでレンタルして使えば、必要なベッド数は約13,400台※2で済みます。ベビー用品やトラベル用品、ホーム用品（日用品）は、「みんなが購入」せず、「みんなで使う」ことが、資源の節約・廃棄物の削減につながります。各種イベントの開催時は、設備や商品とともに、ダスキンの培った最高のノウハウもシェア。環境への負担も考慮し、効果的な提案をしています。

■ベビーベッドの場合



※1…2010年1月～2010年12月レンタル台数
※2…ベビーベッド保有数

CLEAN ダスキンヘルスレントによる取り組み

ダスキンの介護・福祉用具のレンタルサービスでは、定期的な訪問点検により、常にお客様のご要望や状況に合わせた適切な用具を提供しています。いつも安心してお使いいただけるとともに、シェアリングによる環境配慮につながっています。

VOICE

ヘルスレントでは車いすや介護ベッド、歩行器のご利用が好評をいただいています。3ヶ月に1回の頻度でご訪問する福祉用具専門相談員の資格を持つスタッフがケアマネジャー様とご相談させていただき、お客様の体調や症状に合わせた最適な商品をおすすめいたします。メンテナンスフリーでご利用いただけるヘルスレントの商品はレンタルシステムなので、新規で購入するよりもエコに貢献することができます。

レントオール事業部
ヘルスレント運営室
津村 久美子

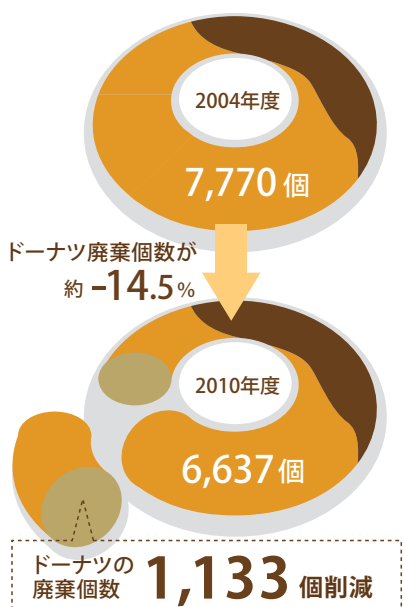


FOOD

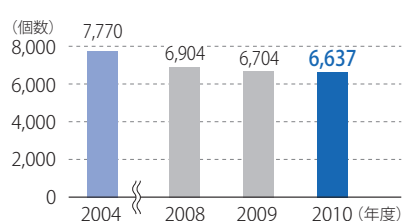
ドーナツのリサイクル

ドーナツの廃棄個数を削減するため、ショップでは製造スケジュールの見直しや廃棄チェックリストによる管理を徹底して行っています。
また閉店時に残ったドーナツは回収し、飼料化処理工場で原料化し、そのまま飼料としてリサイクルしています。このシステムは現在、関東エリア365店および東海エリアの127店の合計492店で行っており、今後は近畿エリアなどで拡大展開する予定です。

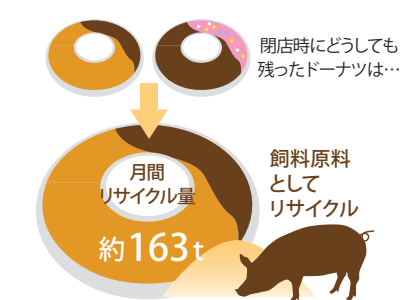
■ ドーナツの一店舗当たりの
月間廃棄個数削減量比較



■ 1店舗当たりの月間廃棄量推移



■ 飼料化処理工場で原料化イメージ図



FOOD

お持ち帰り用ボックスの軽量化

ミスタードーナツでは、お持ち帰り用に使用するお馴染みの箱（ダースボックス、ハーフボックス）の素材の見直しを行い、必要な強度を保ちつつ、紙の厚さを薄くすることによる軽量化を実現しました。
この取り組みにより、従来のものを使用した場合と比べ1年間で約329トン分の紙の節約および容器包装の減量化ができました。

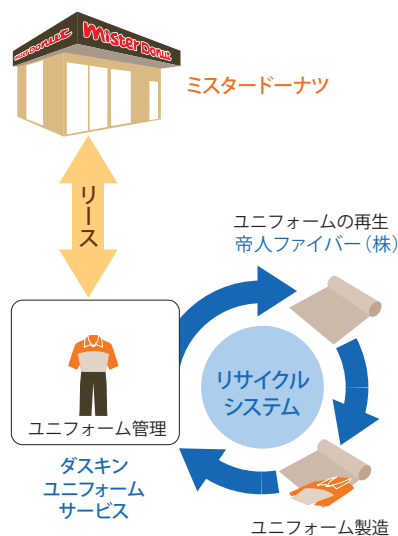


FOOD

環境に配慮したユニフォーム

ミスタードーナツのユニフォームは、“リサイクルポリエステル素材”を使用しています。帝人ファイバー株式会社様のリサイクル技術を導入することにより、繰り返し新しい繊維に生まれ変わらせることができ、ユニフォームの半永久的なリサイクルが可能になっています。

■ リサイクルシステムフロー図

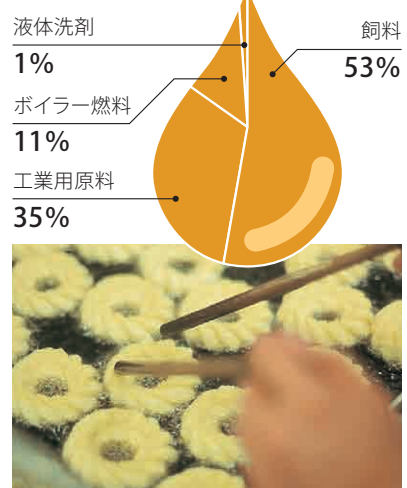


FOOD

油のリサイクル

ショップでは、ドーナツを調理する油の品質を適切に管理し、無駄なく使用できる取り組みを行なっています。
最終的に廃棄される油（年間約548t）は、全て回収し、飼料や工業用の原料としてリサイクル活用しています。そして、その一部は液体石鹸にリサイクルし、ショップの洗剤として利用しています。
また、一部地域では、モップやマットを洗浄、再生するダスキンの工場ではボイラーの燃料として活用しています。

■ 油のリサイクル内訳



VOICE

ミスタードーナツの店舗では引き続き、閉店時に残ってしまったドーナツの飼料化を進めていきます。また、店舗には看板照明、店内照明、ショーケースや調理器具、冷蔵・冷凍庫など様々な設備があります。新店への導入だけではなく、改装時にも出来るだけ省エネタイプに切り替えています。
今年度は現機より電気使用量を11%削減可能な洗浄機を65台、12%削減可能な冷凍庫を103台導入しました。効果は小さいものの、確実に省エネに向かっています。

フードグループ
安全管理部
堤 博史



エコ商品・サービス

ダスキンでは、お届けする商品についても資源の有効活用等の環境配慮に取り組んでいます。
ケアサービスでは、技術を習得したプロのスタッフが、お客様の「ものを大切に使う」気持ちに応えます。

CLEAN

レンタルモップ

繊維製品の紡績工程で発生する短繊維などの「未利用繊維」は従来は廃棄されていた部分ですが、この「未利用繊維」を使用したモップを「ノンオイルモップ・エコ」として商品化しています。



CLEAN

エコペーパータオル

原材料に段ボール端材（段ボールケース等の製造過程で発生する未使用部分）を利用しています。塩素等の使用による環境負荷の原因となる漂白加工を行わず、木材パルプ素材の色をそのまま生かしたナチュラルカラーのペーパータオルです。



CLEAN

家庭用洗剤の詰め替え用パウチ

キッチンやお洗濯、お風呂のお掃除で身近に使用する洗剤類には、パウチタイプの商品をラインナップしています。軽量で、本体容器を繰り返し使用することで省資源となり、現在、5種類の商品で、エコマークの認定を受けています。



CLEAN

窓用フィルム施工サービスの導入

ダスキンサービスマスターでは2010年度より、新サービス「窓用フィルム施工サービス」を導入しました。グリーン購入法の特典調達品目でもある日射調整フィルムの施行を行うことにより、紫外線を99%以上カットして、お部屋や家具などの褪色を低減できる他、赤外線も90%以上カットして室温の上昇を抑え、空調負荷低減による省エネルギーにも役立ちます。



CLEAN

ケアサービスにおける環境配慮

お掃除など、様々な家事を代行するメリーメイドでは、肌へのトラブルが心配なお客様や、小さなお子様やペットがおられるご家庭のために、合成洗剤を使わない「エコお掃除」をご用意しています。



ターミニックスでは、害虫獣の予防管理に重点をおき、薬剤の使用を抑えて環境への負荷を低減させる「I.P.M（総合的有害生物管理）」を推進しています。



トウルグリーンによる樹木のお手入れでは、状況に合わせて、庭全体への散布か部分散布かを選択し不必要な薬剤の使用を行わないことにより、お庭の環境を末永く快適に保つサービスを実施しています。



生物多様性の保全に向けて

白山は万葉集などにも「しらやま」とうたわれ、古来より富士山・立山と並び「日本3名山」のひとつとして崇められてきました。この西日本を代表する国立公園で、ダスキンのマットが生態系の保護に貢献しています。

白山国立公園

指定日：1962年（昭和37年）11月12日
面積：47,700ha（2010年4月1日現在）
年間利用者数：118万人（2008年度）
関係都道府県：富山、石川、福井、岐阜



固有の生態系を脅かす外来植物

標高2,702mの御前峰を中心とした南北50キロに連なる面積47,700ヘクタールの高山帯・亜高山帯は、1962年に国立公園として指定され、ユネスコの「人間と生物圏計画（MAB計画）」の生物圏保存地域にも指定されています。日本列島の高山帯では最も西に位置する独立峰で、ハクサンコザクラなど「ハクサン」を冠した植物は18種類にものぼり、クロユリを代表する独自の生態系が残っています。しかしながら近年、人為的な要因によって外部から持ち込まれるオオバコなどの外来植物により、この貴重な生態系が脅かされています。外来植物は高山植物の生育地を奪うほか、在来植物と交雑するなど、白山国立公園の厳しい自然環境に自生する高山植物の生育に悪影響を及ぼしています。



外来植物の侵入を防ぐダスキンマット

このような状況を鑑み、環境省は白山での外来植物の除去対策を検討する委員会を設置しました。2007年からその具体的な対策として、登山道からの外来植物の種子持ち込み防止を目的とするマットの設置を開始しました。ダスキンはこのマットを提供しています。2010年7月から11月の登山シーズンには合計32枚のマットを提供し、8カ所の登山道に設置されました。種子を除去する性能だけでなく、直射日光や風雨にさらされる厳しい山岳環境においても繰り返し使うことができる耐久性も求められるマットには、ダスキン独自の技術が生かされています。過去4年間の試行と検証において、マットに付着した土砂からオオバコやカタバミの種子が確認され、一定の効果が認められました。設置場所や設置方法、登山者への周知・案内方法も工夫されるなど、取り組みは毎年拡大されています。ダス

キンは今後も引き続き白山国立公園の生態系保全に協力していきます。



VOICE

マットと言えばダスキン。そうひらめいてまずお電話したのがきっかけでした。快く引き受けていただき、またそれ以降も継続的かつ積極的にご支援下さり、とても感謝しています。何と言っても除去した種子をマットがしっかり保持して、雨や風でも離さない、その高い性能を評価しています。白山国立公園では全国で唯一、外来植物の防除が国の生態系維持回復事業として認定されました。今後も改善を重ね、より効果的な保護を進めます。

環白山保護利用管理協会
外来植物対策担当
稲葉 弘之様



私たちダスキンができること

私たちダスキンは、「喜びのタネをまこう」の理念のもと人に、地域社会に、子ども達の未来に貢献できるサービス集団でありたいと願っています。



クリーンアップマイタウン

創業以来、全国の拠点周辺で清掃活動を続けてきたダスキン。この活動を地域のみなさと一緒にできれば、という想いから『クリーンアップマイタウン』は始まりました。各地のイベント会場などで、来場者と一緒にゴミを集めて分別。これからも街をキレイにする活動を行っていきます。



学校教育支援活動

子どもの段取り力や協調性を育むことを目的として学校の掃除時間を活用。教育支援カリキュラムの提供や、先生方を対象とした研修の支援などを行っています。



広げよう愛の輪運動

今年で30周年を迎える「財団法人広げよう愛の輪運動基金」。「障害のある方の自立と社会参加」を目指し、アメリカやヨーロッパなど福祉の先進国へ400人以上の研修生を派遣しています。また、1999年からは障害のあるアジア太平洋地域の若者を日本に迎え、社会福祉を担うリーダーとしての育成も行っています。



喜びのタネまき新聞

1971年創刊のダスキンとお客様をつなぐコミュニケーション紙。「読む人の幸せ」をテーマに、毎号心温まるエピソードなどを掲載しています。



ダスキン工場見学

ダスキンでは小学3年生～6年生を対象に、工場見学を実施しています。汚れたモップやマットを回収し再び商品化されるまでの工程を実際に見てもらうことで、次世代を担う子どもたちに、ものの大切さや自然環境を守る重要性を学んでもらうことが目的です。



キッズタウン（ホームページ）

子どもたちに、お掃除や環境問題を楽しく学習してもらえるWebサイト。バーチャル工場見学やゲーム、読み物など充実した内容です。



CO2削減／ライトダウンキャンペーンに参加

ダスキンでは、環境省が主催するライトダウンキャンペーンに2004年から参加しています。2010年は全国425の施設で広告塔や屋外看板、オフィスなどの消灯を行いました。



「エコプロダクツ2010」に出展

2010年12月9日（木）～11日（土）の3日間、東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」に出展しました。今回のダスキンプースのテーマは、「笑って学ぶエコ生活」。難しく考えがちなエコを喜劇風の演出などを通じて、身近に感じていただきました。

上記のイベント情報や環境への取り組みなどをご紹介しています。ダスキンホームページ <http://www.duskin.co.jp>
子ども達が身近な環境問題やお掃除について楽しく学べます。ダスキんキッズタウン <http://www.duskin.co.jp/kids>

ダスキン（社会・環境） 2010年度の主な取り組み

2010年

4月20日

消費者団体の皆様とダスキン役員との懇談会。
（ダスキン大阪中央工場・開発研究所・商品検査センター）

6月7日

ダスキン本社ビルの広告塔にLED照明を採用。

6月21日

7月7日

「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」に参加。

7月7日

ダスキンの環境PRサイト「数字でエコのタネ」を開設。（～10月31日迄）

9月13日

ミスタードーナツ事業本部、ミッドクラブで、「PINGU×MOTTAINAI」のイラストが入った「40th Anniversary みんなのバッグ」交換を数量限定でスタート（現在終了）。交換していただいたポイントの一部は「グリーンベルト運動」へ寄付。

12月1日

広げよう愛の輪運動基金が「障害者自立更生等厚生労働大臣表彰」を受賞。

12月9日

～11日

「エコプロダクツ2010」に出展。

2011年

2月16日

「おおさかストップ温暖化賞」優秀賞と「おおさか優良緑化賞」奨励賞を受賞。P11参照